

清流

いつでもご連絡
くださ〜い!



2011年

春号

第9号

発行/勝部 俊徳 後援会事務所

発行責任者 勝部 俊徳
(伯耆町議会議員)

〒689-4134

鳥取県西伯郡伯耆町遠藤14番地

◆TEL:0859-68-3173

◆携帯:090-6415-9656

3月定例議会での「一般質問」は、次の点について行いました。

- ①福祉事務所を、この4月から県→町へ移すことについて「プライバシー保護」や「職員体制」、「財政面での影響」などについて、心配はないのか。
- ②入札面や道路、橋、建物などの営繕などの専門性を持つ役場組織にする考えはないか。
- ③「健康づくり推進特区」などをつくり、町民の健康診断や保健指導の受診率をアップし、町民ひとり、ひとりのさらなる健康づくりを推進すべきである!
- ④町の将来像としてのキャッチフレーズは「森と光が織りなすうるおいの町 共生と交流の町 伯耆町」……となっているが、これは、よくわからない言葉である。このたびの「東北・関東大震災」などからしても、「防災まちづくり」にも力を入れるべきである!

わたしたちの町の新年度予算(一般会計)

……76億9千万円に決まる!

- 前年度より16%アップの大型予算となりました。
(町民1人あたり54万円→63万円にアップ)
- これは、次のものが主な要因です。
 - ①溝口小学校(耐震改修・増築、体育館の改築など
③~④) ……543,962千円
(注) H24年度には、体育館242,922千円を追加実施。
 - ②町の福祉事務所開設費(生保、母子支援、児童支援など) ……227,647千円
……経費は、町が基本的には1/4負担。
(ただし、これは特別交付税で手当てされる。)

問題点

- ・特別交付税もしくは交付税制度とその財源が将来的に安定的に確保されるのか。
- ・また、福祉需要が、増大したときの専門職員の体制やローテーションが、うまくゆくのか。
- ③大型農業機械等の導入助成(チャレンジプラン) ……11,960千円
- ④インフルエンザ予防接種事業(町単独、新規) ……全町民にワクチン接種費用の助成 ……21,163千円

○東日本大震災により、お亡くなりになりましたみなさまがたのご冥福を心からお祈り申し上げます。

○被災されたみなさまがたの健康と復興を願いながら、ほんのささやかでも支援し続けたいと思っております。

⑤学力向上プロジェクト……6,063千円

- 子どもたちの学力向上(授業力向上プロジェクト、パソコン学習支援費、モジュール学習などの向上支援)

⑥岸本小、八郷小(計3棟)の校舎の耐震改修実施設計費等……41,520千円

コメント

八郷小は、「3階建て→2階建て」とするような「減築」という手法は、地域感情からしても、望ましいものとはいえないと思う。

⑦町民グラウンド(岸中前)に小・中学生のバスロータリーなどの整備事業……26,695千円
(町民グラウンドの一角で、小・中ともスクールバス乗降)

コメント

- ・児童・生徒が安全で近くて便利な場所である町民グラウンドに「バスロータリー」の整備は、よいことである。
- ・また、町民グラウンドは、細かい真砂土で、雨のときはぬかるむので歩き幅の舗装が必要である。

⑧宅地としての開発可能な土地の基礎調査 ……1,000千円

コメント

…白地農用地の有効利用を!

⑨大山高原スマートインター

(大山パーキングに接続するI・C)(この6月オープン予定)の推進事業……7,974千円



岸本図書館4月オープン!
(図書室→図書館へ)

岸本駅前整備ができました!
(待合施設、タクシー、エコレンタサイクル)

より私たちに身近になりました～
福祉事務所がスタート！（県→町へ）
 ……生保、児福、特障などのサービス提供へ

質問 県→町へ、「福祉事務所」がスタートしました。そのおおまかなことを教えてください。（伯耆町：A子）

〈回答者 日野川 鮎子〉

鮎子 福祉事務所は、「生活保護、児童福祉、母子生活支援、児童扶養手当、特別障害者手当」などの仕事を担当することとなります。

A子 町が福祉事務所を行う「メリット」は？

鮎子 県→町で行うこととなり、素早い福祉行政が期待できることでしょうか。

そして、役場とみなさんの距離が近くなり、目が届きやすくなることでしょうか。

A子 では、反対に「注意点」は？

鮎子 役場と相談する人の距離が近すぎて、かえって相談しにくいこともあるかもしれません。

また、財源が、一定の国の措置があるとはいえ、1/4を町が負担することは、将来的に要注意です。

鮎子 「身近で安定した福祉」にしたいものです！

●家庭ごみなどの減量化作戦 9千万円
 ……モデル地区→大型生ごみ処理機を共同利用
 ～生ごみ水切りバケツも配布 2,000個
 ～紙おむつのペレット燃料化へも！

質問 可燃ごみの5年後の3割削減への取り組みについて町は、何をしていますか？（伯耆町：B男）

〈回答者 大山 太郎〉

太郎 ことし約9千万円かけて、①生ごみの堆肥化②水切りバケツの希望者配布2,000個③紙おむつ（病院、介護施設からの）の処理機などを導入し、減少化をしようとする作戦です。

B男 もう少し、具体的に～。

- 太郎
- ・大型ごみ処理機 1台 6百万円
 - ・水切りバケツ 2,000個×2,000円=4百万円
 - ・紙おむつ処理機 1基 4千6百万円
 - ・ペレット成形機 1基 9百万円
 - ・清掃センター（福島地内）改修 1千1百万円
 - ・大型ごみ処理機（事業所貸出し）1台 5百万円
- ……などが、主なものです。

B男 この取り組みの成功のカギは、私たちの「意識と取り組み」とに、かかっていますか？

太郎 もちろん、そうですね～。やってみましょう！



太郎 地震・津波・原発……ほんとは百年に一度どころか千年に一度の大災害ですね。

鮎子 国民保護法は、武力攻撃の想定で、死傷、火事、放射性物質による汚染災害などの対策法ですが、まさに、この法律レベルの大災害ですよ。

太郎 あのような大津波や原発を見てみると、どこか「防災」という言葉が、むなしく聞こえてきますよね。

鮎子 三陸海岸でも通常の津波なら大丈夫！…って、レベルの大きさの防潮堤があったみたいですが、今回は想定外！

太郎 災害の「すべて」は防ぎ

防災↓「適災？」へ～！

こんにちは！

町政問答

清流



大山 太郎 日野川 鮎子

町民のみなさまのお声をお伺いし、お届けすることが原点です！

ようがないのかもね。

鮎子 これからの考え方の一つとして……「防災↓適災」へ」という考え方もあると思うわ。

災害のあとの最低ライン三日分以上の飲み水などの確保を！

太郎 適災？って。

鮎子 災害は、やってくる…っていう考え方になって、「適正に、適度に、適応する。」…って考え方でしょうか。

三日間の飲み水と、防災公園を町内六か所に設置を！

太郎 もう少し、具体的には、どんなことでしょうか？

鮎子 ・三日間の飲み水は、町として確保すべきだと思います。
 ・飲用可能な防火水槽60トン×町内6ヶ所（約一億円）…これで、一ヶ所2千人の、一日あたり一人、10リットルの水を確保。
 ・食料や生活必需品は、町としてのストックは難しいことです。
 ・普段は、畑などの農地として活用しながら、いざというときの防災公園を町内に六か所新設（一か所二千人を想定。一か所あたり約1.5haを新設。（算出は、全国の一か所あたり都市公園面積の平均約3坪を元に算定。）

太郎 「防災・適災↓福祉・子育て支援・若者支援」などのまちづくりが大切なんです！